

旧小樽倉庫

小樽倉庫は加賀の商船主、西谷庄八と西出孫左衛門によって 1890 年に新しく埋め立てられた土地に建てられました。倉庫は貨物の積み込みや加工をしていた中庭の周りに建てられました。

各建物の屋根の棟には一対の陶器製の伝説の海の生き物（シャチホコ）像が飾られています。城でよく見られるこのモチーフは、火災から守ると信じられ、また富の象徴でした。堺町通りの岩永時計店の屋上にも同様の像が見られます。

いくつかの建物は現在小樽市総合博物館として使用されており、縮尺模型、写真、美術品やその他の工芸品を通して小樽市の歴史をたどっています。博物館の一部には店舗や商家の実物大の模型があり、19 世紀初頭の典型的な商店街が再現されています。他の展示では小樽周辺の山や森の野生動物に焦点を当てたリアルな実物大のジオラマが展示されています。